

【研究概要】

アルコール性肝疾患は肝癌死、肝不全死のリスクであり、予後改善のためには禁酒指導が望ましい。しかし医療スタッフ数・時間に制約があり、患者もモチベーション維持が課題である。研究者らは禁酒指導で用いる禁酒日記の代替として、スマートフォンアプリを開発中である。臨床面で既に運用開始しているアルコール性肝疾患患者へのリエゾン介入時にこのアプリを導入することで断酒成功率が向上するか評価する。また飲酒パターンのAI解析や医療言語処理によるリスク解析の精度をあげ、実臨床での応用に繋げることを目指す。